

# あつ 温ちゃん通信

第25号

2023.4.21  
発行

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田1378  
Tel/Fax: 0826-57-1875 メールアドレス: akoyamane@gmail.com  
face book: @yamane.atsuko ホームページ: yamaneatsuko.net



里山の春はアセビ（馬酔木）の花が至る所に



レンギョウの花言葉は「希望」「期待」  
今年度も元気で参りましょう！



土師ダムの湖畔は桜で満開

## 広報あきたかた4月号「市政の動き」は、嘘を重ねての個人攻撃に



市長の2月28日付委員長宛の書面通知（公文書）は、重大な不備！悪質！過ち！猛省・法令遵守を求める等、言葉を連ねての委員長非難ですが、これら全て市長ご自身に当たはることです。

公文書に挙げられたことは、温ちゃん通信第20号、21号で説明済みですが、以下簡単に説明します。

①地方自治法第104条「議長は議会を代表する。」議会の窓口は議長であり、外部から議会に対する行為は議長宛に行われる。

外部の市長が、公文書を議長以外に乱発するのは権力の濫用であり、規則違反を繰り返す悪質な運用をしているのは市長です。

②R3年11月5日は美術館の休館とB&G改修についての説明を求めたもの。市長は、説明しない理由に不備を挙げられたが、全国市議会議長会において「他市の事例でも見られるものあり、間違ったものとは言えない」との見解あり。

恣意的に解釈した法令を遵守すべきとは言えない。

③市長が求める回答は、R3年12月16日委員会開会冒頭に報告を求めた市長に、「現在議会全体として対応している」と返しています。また、この時に①の議長の代表権についても言及したので市長の記憶にあるはずです。

この年度を超えて嘘を重ねての執拗な攻撃は、大型台風14号の最中に、千葉の九十九里浜までトライアスロンに行っていたことを暴いた一般質問が気に入らなかったのでしょうか。2月14日の議員宛の公文書では一般質問を不適切だとしていますが、質問に誠実に答えないのは市長です。市民も職員も消防団も寝る間も無く災害対応している時に、災害対策本部が設置されている時に、対策本部長の市長がトライアスロンなんて！自身の無責任な行動を認め、出直してください。

「逃げるな、隠すな、嘘つくな」が危機管理の鉄則です。

## 3月定例会の一般質問から // 3月の定例会では、以下3点について的一般質問を行いました。

### ① 男性用トイレへのサニタリーボックス(汚物入れ)設置について

近年、前立腺がんや膀胱がんなどの病気や加齢により、尿漏れパッドやおむつが欠かせない方、また、LGBTなど性的な少数の方への配慮から、公共施設の男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置する取組が全国でも広がってきています。広島県内の排せつ環境の整備を進める市町が増える中、本市は対応していないとの報道（R5.1月20日中国新聞）に、現在の対応を質問しました。

Q 市の公共施設や庁舎の男性用トイレへのサニタリーボックスの設置状況は。

A 男性用のトイレへはサニタリーボックスを設置していない。



Q では、アーゼヨ1階、2階の多目的トイレに置いたある表示のない入れ物は何か。

A サニタリーボックスという位置付けで設置はしていない。これからはちょっと検討。

### 温ちゃんのもう一言

多目的トイレにある入れ物は、汚物入れという位置付けではないとの答弁。

排泄トラブルを抱える市民や性的な少数者への配慮に欠ける、あまりにも不適切な市の対応に、



裏面に続く▶

## ② がん検診について

コロナ禍による受診控えの影響と市の取り組みを質問しました。

Q 死亡原因第1位のがん、早期発見のためのがん検診へのコロナ禍の影響は。

A がん検診の受診控えの影響はある。大腸がん、肺がんの検診者は300人以上減少した。

Q 受診率の目標とそれに向けた取り組みは。

A 厚生労働省が目指す50%を目標。総合健診及び人間ドックに加え、個別に大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、さらにR5年度は胃がん検診と肺がん検診も加え取り組む。



## ③ フレイル\*予防について

げんき教室は、高齢の方々にとって、みんなと一緒に運動し、お話しでき、フレイル予防になる介護予防事業です。

令和5年度この介護予防事業費が、前年度比で約3割削減される理由を質問しました。

\*フレイルとは、加齢により身体機能や精神機能の低下、社会とのつながりの低下により心身が弱った状態のこと



Q げんき教室の令和5年度の予算が減額されている理由は。

A 財政健全化のために、あらゆる事務事業を見直す、その一つだ。

Q 8期の介護保険事業計画では、令和3～令和5年度は約4,800万円台と推計されている。突如、対前年度比33%削減の約2,900万円とした理由は。

A この介護予防に力を入れるために若年層から手を打つ。健康寿命の延伸のために、最もコスパがよい、最も効果が見込めるところに予算を組み替えた。

Q 市長は若い世代に向けてかじを切ったが、今、団塊の世代がちゃんと健康寿命を延ばすことが、コスト的にはこの安芸高田市になる。理解できないのか。

A 若年層の健康意識を高めることが有効。若年層が意識を高めれば、体力的に劣る高齢の方も、余計に気をつけないといけないね、と波及すると見込んだ。

Q 自分の体力やこれから的人生の最終盤をしっかりと受け止めている市民にとっては、今、自分たちの健康を維持するためのげんき教室が必要。そこでみんなと話し、笑い、運動し元気をもらって帰る、それができなくなる。もっと増やさなきゃいけない時期に減らすことは、健康寿命を切るような問題だ。健康寿命を延ばそうと頑張る高齢者ごとも考えていただきたい。今一度伺う。

A 単純に削減をするのではなく、より効果的な施策に見直した。市財政は毎年2億ずつ減っていく。事業を削らないというのは不可能だ。

Q 介護費用と介護予防費用は一人当たり、どちらがかかると思っているのか。

A 介護費用のほうが高い。なぜならば、介護予防費用にあまりお金を使ってないからだ。

### 温ちゃんのもう一言

平均寿命と健康寿命の差は、男性で8年、女性で12年。健康寿命を伸ばして元気で長生きするには、栄養と運動と社会参加の3本柱が重要。高齢化率40.6%（4/1現在）の現状で、自らがあまりお金を使ってないという介護予防費用（げんき教室）をさらに減額し、波及効果を待つ事業に切り替えるとは、現実逃避も甚だしい。

喝!

平均寿命と健康寿命の差(2019年) e-ヘルスネット(厚生労働省)

